

10/13 国際防災デーに、防災×アウトドアイベント開催 自衛隊による土のう積み、防災リュックレース、ファッション ショーなど

初の地域住民との協働企画。商店街での防災スタンプラリーなど地域の防災力を高める機会に

図書館機能を中心とする複合施設「海南nobinos」（和歌山県海南市）は、国際防災デーの10月13日に、海南nobinos、サンサントウン中央通り商店街、海南駅前一番街商店街で、防災×アウトドアイベント「のびきゃん（nobinos camp）～楽しく学ぶ国際防災デー～」を開催します。自衛隊による土のう積み体験や、防災リュックレース、防災アウトドアファッションショー、商店街も連携した防災クイズスタンプラリーなどを実施します。市民参画組織を立ち上げ、約1年をかけて企画した初めてのイベントで、3,000人の参加を見込んでいます。南海トラフ地震の不安が高まる中「稲むらの火」の歴史を持つ和歌山で、商店街とも連携し、地域の防災力を高める機会にもなれたいと考えています。

市民参画組織を立ち上げ、初めてのイベント

海南ノビノスでは、市民団体（社会福祉法人や学生団体）・企業（地場産業企業や商店街）・有識者からなる市民参画の受け入れ組織「市民参画会議 “s_bito（スピト）の会”」を2023年6月に立ち上げました。ともにイベントを企画することで、市民による地域活性化や、市民同士のつながりや協働を生み出すことが目的です。さまざまなアイデアの中から、ノビノスでもテーマになっている「防災」を軸に、幅広い層に参加し、楽しく、コミュニティづくりのきっかけにもなれたいと、第1回は防災・アウトドアイベントに決まりました。



市民参画会議の様子

防災体験や、商店街を巡る防災スタンプラリーなど

「のびきゃん」では、防災時に役立つ知恵・知識・思考を楽しみながら学んでもらいたいと、地域のリソースを生かした防災・アウトドア体験を準備しました。自衛隊による土のう積み体験や、就寝時の地震を想定し防災用品をリュックに詰めて担いでゴールする親子レース、応募者が自慢の防災&アウトドアウェアを着てランウェイを歩くファッションショー、防災トイレの組み立てや簡易テントの設置体験、誤飲しやすい高齢者や幼児向けパンなどの防災食の試食、名前入り木製プレート作りやまき



本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南nobinos 指定管理者TRC海南（担当：馬場・田中）

〒642-0002 和歌山県海南市日方1525-6

E-mail : lib.trc.kainan@mail.trc.co.jp

TEL : 073-483-8739 FAX : 073-483-8738

HP : <https://kainan-nobinos.jp/>

わり体験などを屋外広場で実施します。近年、自然災害のあった国の料理を楽しんで応援するキッチンカーも並びます。館内では、防災とキャンプの本を展示します。また、2つの商店街と連携し、海南ノビノスから商店街を巡り、防災クイズに答えるスタンプラリーも実施します。

参考

■のびきゃん (nobinos camp) ～楽しく学ぶ国際防災デー～

日時：2024年10月13日（日）10:00-16:00

会場：海南nobinos/サンサントウン中央通り商店街/海南駅前一番街商店街

主催：海南nobinos

企画：s_bito の会

協力：Asu&mk 株式会社、社会福祉法人一峰会、エコー楽器、合同会社ジャパングローバルトレイド、株式会社サンコー、株式会社三好漆器、ハピネスキッズラボ、一般社団法人防災用品研究所、ゆらきゃんぷ

■市民参画会議 「s_bito (スビト) の会」 について

市民団体（社会福祉法人や学生団体）、企業（地場産業企業や商店街）、有識者からなるメンバーと海南市、事務局（海南nobinos）が参加して、2023年6月から年6回ほど会議を開催しています。

<目的>

「海南nobinosから、市民による地域活性化を」

2020年のオープン以来、市内外から多くの来館者が訪れる海南nobinosを核に、「にぎわう図書館」を体現する地域活性化イベントを、市民参画によって企画します。

<s_bito (スビト) の由来>

鳥が木の枝や葉、草など身近なものを寄せ集めて「巣」をつくるように、それぞれの特技や好奇心を持ち寄って海南nobinosや海南のまちの未来を育てていく仲間を、「nobinos」に集う人＝「s_bito (スビト)」と名付けました。

■「海南nobinos」施設概要

名称：海南nobinos（カインアン ノビノス）

※「のんびりする」「のびのびできる巣」という

所在地：和歌山県海南市日方1525番地6

Access：JR海南駅より徒歩7分

開館時間：9:00～21:30

休館日：12月29日～1月3日

運営：指定管理者 TRC海南

代表団体：株式会社図書館流通センター（本社：東京都文京区 代表取締役社長 谷一文子）

構成団体：株式会社明日香（本社：東京都文京区 代表取締役 萩野吉裕）

：大揚興業株式会社（本社：和歌山市新通2丁目 代表取締役社長 村田弘至）

施設内容：①図書館機能/蔵書冊数14万4865冊（うち絵本の冊数5万2659冊）※2023年6月末時点
②市民活動・生涯学習活動支援機能/ホール(最大254席)、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×



1 ③子育て支援機能／和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室、乳幼児用の遊び場、屋外広場に隣接する保護者待機室など ④カフェ／スターバックス コーヒー 海南nobinos店（館内は全て蓋つき飲み物の利用可） ⑤広場

■来館者数関西一 “賑わう図書館”

海南nobinosは、図書館機能を核としながらも、ホール・貸館、子育て支援機能を持ち、広場のほか、スターバックスコーヒーも出店しています。図書館は、手に取れる冊数としては日本一となる5万冊の絵本を開架し、児童書、一般書、マンガなど親しみやすい図書を中心に揃えています。ぶつかっても怪我をしないクッション性の高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読める読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。2020年6月1日の開館以来、図書館に来るきっかけになるようなイベントも多数開催し、年間来館者数は59.7万人と、人口10万人規模の自治体の公共図書館と比較して関西一となります（日本図書館協会「日本の図書館 統計と名簿2023」より）。

